

能登川南小学校

いよいよ増築—起工式—

完成は来年3月

東近江市立能登川南小—児童六百二十八人の駐
学校(市川純代校長、児—車場で四日、校舎増築の



増築起工式であいさつをする中村市長

「安全祈願祭・起工式」
が行われ、行政、教育関
係者らによる鉄入れ神事
が行われた。

南小学校は、開発が進
むJR能登川駅周辺地域
を校区にしており、急激
な児童数の増加で教室不
足に悩んでいる。現在、
特別教室を一般教室に転
用してしのいでいるが、
五年後には百七十人が溢
れる予想で、少なくとも
五クラス分の増築は不可
欠となっている。

このため、旧能登川町

で増築の実施設計委託費
七百三十万円が緊急提
案・可決され、今年一月
から東近江市が引き継い
できた。

増築校舎は、鉄筋コン
クリート造り三階建て。
建築面積千二百三十一平

方メートル。普通教室六
つと特別教室二つ、各階
ごとにトイレ、談話広場
が設けられるほか、給食

配膳室の増設
(鉄骨造二・九
五平方メート
ル)と職員室の
改修、外溝工事
が行われる。総
工費は約一億九
千二百八十五万
円。完成は来年
三月中旬ごろ。
式には、中村

開発で児童数急増

十分な学習環境へ

功一市長、吉澤克美市議
会議長、宇賀武真会議員、
岡井眞寿美教育長、野村
赤一教育委員長のほか、
市川校長、中澤道雄同校
PTA会長、小川脩哲旧
能登川教育長、工事関係
者ら約四十人が参列した。
起工式で中村市長は
「市民生活が安心して送
れ、その中で子どもたち
の元氣な声が聞こえる学
舎になることを期
待している」とあ
いさつした。

また、元能登川
町長である宇賀真
議は「喫緊の課題
として学区編成の
見直しが話し合わ
れ、今回の増築と
いう決断に至りま
した。工事の開始
をうれしく思う。次の時
代を担ってくれる子ども
たちが、喜び、悲しみを
共有し合い、健やかに成
長してくれることを願
います」と祝辞を述べた。
能登川地区には、同校
のほかにも東・西・北の
三小学校があり、地域の
特色を生かした活動が展
開されている。しかし、
児童数二千人を数えてい
た東小学校は四百人余り
に、二クラス編成だった
西小学校は一クラス、北
小学校では百人に満たな
いなど、年々児童数格差
が開き、旧能登川町と町
教委では、学区編成の見
直しに賛成(六一・五%)
という保護者アンケート
を受けて、小学校通学区
域検討委員会を設置。ま

た、保護者千二百三十人
の署名を添えた「小学校
学区編成替え要望」も出
されたが、変更対象の二
地区の理解が得られず、
増築という結論に達した。
なお、今回の増築によ
り、新たな駐車場確保の
問題が出ている。